



初午祭開催!

2025年初午祭は2月11日(火)、例年通りに百里平和公園で開催されました。会場の平和公園は、早朝から多くの方がたが準備に余念がありません。特に反対同盟が提供する「赤飯」は、「冷えても堅くならず、おいしい」という評判です。反対同盟の梅沢さん

夫妻を中心に、地元、鹿嶋市、水戸市からの支援者が集まり、梅沢さんが事前に洗っておいた120kg(2俵=4斗)のもち米を、4つの竈(かまど)のそれぞれに2つ、合計8つの蒸し器を据えての奮闘でした。平和委員会の篠原事務局長も、常陸太田から早朝に駆けつけ、竈(かまど)の当番を受け持ち、真っ黒になって動いていました。

■平和公園に井戸を設置—9条の碑の賛助金を活用

式典開始の前に、「9条の碑建立実行委員会」栗又衛事務局長が「平和公園内に井戸を設置した」と報告しました。平和公園内の「憲法9条の碑」は昨年、実行委員会を結成して建立されました。その賛助金が予定より多く集まり、実行委員会で話し合った結果、「公園に井戸を設置しよう」ということでした。今後はポンプを設置し、発電機を電源として活用します。

■式典は平和委員会の篠原事務局長の司会で!

式典は12時に開幕。県平和委員会の篠原事務局長が司会です。地元反対同盟の梅沢さん、百里弁護団から谷萩弁護士は挨拶と同時に弁護団長であった内藤功弁護士からのメッセージも披露しました。鹿行平和委員会会長の風間さんが、反対同盟から提供された祝い酒で乾杯の音頭を取りました。反対同盟からはジュースやお茶などの飲料や、焼き芋用のサツマイモなどもたくさん提供されました。



■7団体が決意表明!

次いで、百里連協に結集する団体、「茨城平和擁護県民会議」「茨城県平和委員会」「農民運動茨城県連合会」「社民党茨城県連合」「日本共産党茨城県委員会」「新社会党茨城県本部」「日本山妙法寺」の代表が決意表明。最



百里平和公園に450人集まる!

2025
2/11

後に「新日本婦人の会」河野恭子さんの提起でアピール文を採択しました。

■県平委「新誘導路(新滑走路)建設反対」決意表明!

県平和委員会の木村さんは、県が昨年末に「茨城空港の活性化」をうたって立ち上げた「茨城空港のあ

り方検討会」の問題点を指摘し反対を訴えました。

1つ目は「百里基地は軍事基地である」こと。百里基地は、今や米軍だけでなく、インドやカナダ、オーストラリア、ドイツ、イギリスなどの空軍と共同訓練が頻繁に行われている。その観点から、「基地強靱化計画」を進め、「司令部の地下化」を進めている。茨城空港は、「軍民共用」でなく、「軍事基地の間借り」というのが実態。「ありかた検討会」は、防衛省からも、百里基地からも委員に入っている。しかも「会議は公開しない」。その上、「新誘導路(実際は新滑走路)が完成したら、自衛隊に引き渡す」と県は言明している。



2つ目が、百里の農民の方たちが生活をかけて、命をかけて、「軍事基地建設は許さない」と闘った歴史と、県内外を問わず、多くの方々がその思いを支えて、ともに闘ってきた重い歴史を見ていないこと。百里基地反対の闘いの現在の形が、この百里平和公園であり、一坪運動の地。「戦争につながる軍事基地建設は絶対反対」。「軍事基地建設のための土地は絶対に渡さない」、それが平和公園であり、一坪運動の地であり、百里基地に反対する方々の思いが結集した地である。

新誘導路(新滑走路)の建設計画にかかる土地は、「自衛隊は憲法違反」の大きな看板が掲げられている射撃場跡や、百里基地反対同盟の方々所有の土地が含まれている。自衛隊は、県を使って、あるいは県と結託して、これらの土地を「強制収用」して取り上げようとしているとしか考えられない。完成後は自衛隊へ引き渡す。「茨城空港が発展」するのではなく軍事基地としての百里基地が拡張されるというのが事実。絶対に許すことはできない。新誘導路(新滑走路)の建設の狙いをしっかりと見定めて、「新誘導路の建設反対」の声を上げよう、平和委員会も皆さんと共に頑張る、と訴えました。

■リレートークや歌での交流会



第2部の司会は大名さんと「うたごえ」の仲間。大名さんは軽妙な司会とアコーディオンを演奏します。大型バスで40人以上の方が参加した、東京平

和委員会の方々の平和への訴えと合唱で開会しました。また初公開の「スコープ三味線」の演奏などもあり、珍しく温かい天候の中で、楽しい交流会になりました。最後は恒例の「がんばろう」。参加者が全員で肩を組み、連帯を誓いあいました。



～ 不条理に抗(あらが)う ～

【石岡平和の会】立原 未知

2024年10月17日。

俳優 西田敏行さんが亡くなった。

松竹大船撮影所で、88年から始まった釣りバカ日誌」の浜ちゃんの周りはいつも賑やかで、いつも温かかった。

その西田敏行さんが、憤怒の声に震えたことがあった。

2011.3.11 直後にふるさと福島に入った西田さんは、多くの人を前に「福島をこんなふうにしたのは誰だ！誰なんだ！」と涙で問うたのです。

いつの間にか加害者の東電が、被害者ヅラをして、人々の間を分断させる為にカネと人の心を差配していることに驚愕します。

10月5日、福島視察で、楡葉町、富岡、浪江、大熊、双葉町方面をバスで巡った。夕方まで回ったのに誰一人とも会わないことに気づいた。

華麗な学校、小奇麗な子育て世代の住宅、高齢者向け住宅、しかし子どもの泣き声、笑い声、洗濯物の暮らし

の匂いが一つもない。道路の向こう側は線量が高くて除染しきれないらしいから人が住めないということでしょう。土の上は歩かない、雑草には触れないで、の注意があったのも厳しい現実。

人がいない筈です。いのちを奪い、くらしも生業もふろさと丸ごと絶ち切っておきながら、人々を分断することに血道をあげ、目をそらせようとすることに黙っていられようか。すべての原発が廃炉になるまで抗う。廃炉になっても冷やし続けられない限り事故が起きるとか。

原発は膨大な放射能を生み、それを抱えながら運転する機械なのだ、ということ肝に銘じて。

【2024年12月1日】

(注記) 県平和委員会が昨年10月に取り組んだ「福島原発事故現場視察」に参加して頂いた石岡平和の会の立原さんから頂いた感想文です。見川にあった旧事務所に届けられたため、新事務所までの配送が遅れました。立原さんには感謝と同時に、掲載が遅れたことをお詫び致します。(編集部)

県平和委員会が事務局長を歴任！

「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会」10周年を迎える！

2025年の活動方針決まる！

「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会」は、略称を「戦争法廃止連絡会」と言います。結成当初から、県平和委員会が事務局長となっています。

当時の安倍政権が安保法制＝戦争法を国会に上程した時、「安保法制廃案実行委員会」が結成されました。国会でこの悪法が強制採択された後、現在の名称に変えました。

以後、毎月19日の12時～13時、「茨城アクション」として、水戸駅の北口で、安保法制の廃止を求めて宣伝行動に取り組みました。19日が土曜日や日曜日の時には、デモにも取り組みました。今年(2025年)は、戦争法強行採決(2015年9月19日)から10年目の節目の年になります。「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会」では、全国の動きと呼応して、事前準備を十分に取って、県内でも大規模な取り組みを計画します。

毎月19日を「茨城アクション」として、水戸駅前のデッキで「戦争法の廃止を求めてリレートークやデモ等のアピール行動を進めてきました。今年の計画は以下の通りです。ぜひ参

加して下さい。

①3月19日(水)

・12:00～13:00 水戸駅北口 リレートーク+スタンディング

②4月19日(土)

・13:30～14:30 水戸駅北口 リレートーク+スタンディング

・14:45～15:30 デモ(水戸市南町～自由広場) 流れ解散

*宣伝カーは使いません。

③5月～9月、11月～12月の19日は、リレートークとスタンディングを実施。

④10月19日(日)

・集会(リレートーク) 日程や時間は今後の会議で協議。

・デモ(水戸市南町～自由広場) 宣伝カーを使用します。

【茨城県平和委員会第3回常任理事会】ご案内

日 程 3月29日(土) 13:30～16:00

場 所 水戸共同ビル・4階(平和委員会事務所)

内 容 「定期大会」骨子 「仲間を増やす取組み」など